

エコ -Eco Mystery- ミステリー



エコロジ探偵

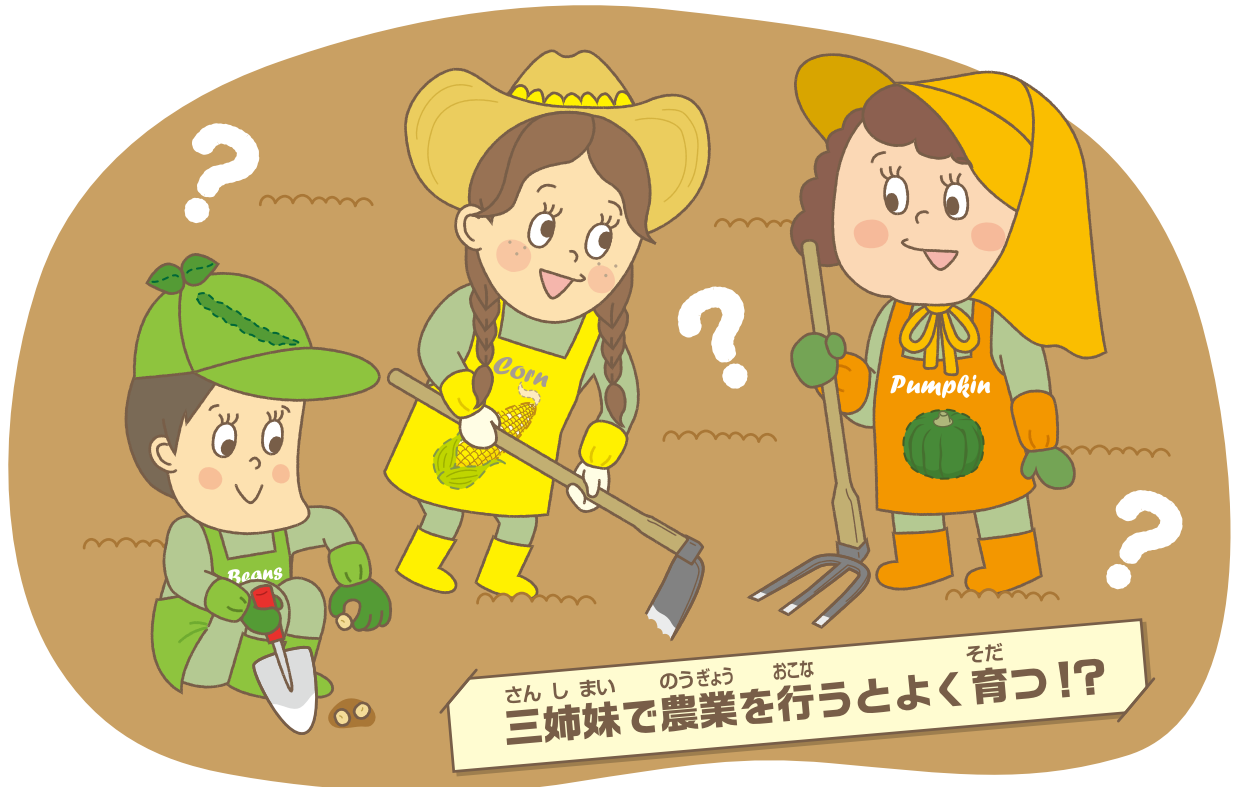
「エコ」に関することをたくさん知っているよ



スクワール助手

好奇心旺盛で「エコ」に関するいろいろなミステリーを見つけてくるよ

ミステリーファイル 11 / コンパニオンプランツ



※イラストはイメージです

探偵手帳

ネイティブアメリカン

アメリカの先住民のこと。2万～1万5000年前にユーラシア大陸からやってきた人々の子孫で、古くから狩猟・採集の生活を送っていた。15世紀末ごろにヨーロッパ人がやってきたことで住む土地を追われた。探検家のコロンブスがアメリカ大陸をインドと勘違いしたため、インドの人という意味の「インディアン」と長く呼ばれてきた。アメリカインディアンと呼ばれることもある。

コンパニオンプランツ

お互いに良い影響を与え合う植物のこと。1種類だけで育てるよりも、特定の異なる種類のものを一緒に栽培することで、病害虫の発生を抑える、成長が良くなるなどの長所がある。短所は、管理が複雑になって手間が増えることと、組み合わせを間違えると成長が悪くなったり、害虫の被害が大きくなったりすることなどがある。



エコロジ探偵たいへんです！三姉妹で野菜を育てると、作物の实りが良いそうです！姉妹がいないと農業はできないのでしょうか？

まあ落ち着きなさい。三姉妹というのは人のことではありません。ネイティブアメリカンの伝統的な農法で、トウモロコシ・マメ・カボチャと一緒に育てることを「スリーシスターズ（三姉妹）」と呼ぶことがあるのです



三つの作物と一緒に育てると良いということですか？

そうです。スリーシスターズのように、相性の良い植物をコンパニオンプランツといいます。一緒に育てるメリットを考えてみましょう



う〜ん。何か栄養を出しているのかな

正解です！マメの根にいる「根粒菌」という細菌が、空気中のちっ素を吸収して土を栄養豊富にするので、トウモロコシとカボチャがよく育つのです



トウモロコシやカボチャも、マメの役に立っているのでしょうか？

そのとおり。では全体を見てみましょう



トウモロコシ

マメの支柱になる。背の高い葉で、風や暑さを防ぐ

マメ

根の根粒菌で土を豊かにする

カボチャ

葉で畑を覆い、雑草の繁殖や土の乾燥を防ぐ

トウモロコシは害虫に襲われると、その害虫の天敵であるハチを呼ぶ化学物質を出します。それがマメにも作用し、蜜を甘くしたり増やしたりして、害虫を食べるアリヤスズメバチをより多く呼び寄せることが最新の研究でわかりました



トウモロコシが助けを呼ぶと、マメも反応して助けを呼ぶのですね！

さらに、トウモロコシに呼ばれてきたハチがマメの栄養たっぷりの蜜を吸うと、長生きしてより多くの害虫をやっつけてくれるのです



コンパニオンプランツで、栄養をつくらせたり、害虫を防いだりできるなら、化学肥料や農薬を減らせるかも…？

よく気がつきましたね！そのため、最近ではコンパニオンプランツが見直されてきているのです。相性が良い理由を科学的に解明して、現代の農業に応用できるよう研究が進められていますよ

